

アレルギー(ぜんそくやアトピー)の症状を悪化させないために！

日頃使っていないお布団を泊まり客に急に使うことにより
お子様が、夜中にぜんそくの発作を起こして救急車で運ばれたり
アトピー性皮膚炎の症状が悪化し、どこにも遊びに行けなかったり
せっかっくの連休が台無しになる“帰省アレルギー”が毎年報告されています。

こんな残念な連休にならないために
次の5か条を参考にしてください。

1. 当日寝るお布団を日干しして下さい。

(注意)もし、カビの臭いがしている場合は、臭いが消えるまで数日干してください。

2. カバーは洗濯しておいてください。

(注意)押し入れやタンスに入っていて綺麗な状態でも事前に洗って準備しておいてください。

3. 日干し後のお布団には掃除機がけをしてください。

(理由)布団の中のダニ(死骸やフン)及びカビがアレルギー症状を急激に悪化させることがあります。

掃除機に、布団専用ノズル※をつけてカバーをしていない状態で1枚当たり表裏各20秒程度かけていただくと効果的です。

※布団専用ノズルはホームセンター等に2千円程度で売っています。

4. 当日、布団を敷くお部屋は十分に喚起をしておいてください。

(理由)特に普段使っていないお部屋にはハウスダストと呼ばれる微小のダニアレルゲンやカビの胞子などが閉じ込められています。

お部屋が無臭状態になるまで完全に喚起してください。

5. ペットがいる場合は、事前にシャンプーしておいてください。

(注意)お部屋にペットの毛があることもアレルギーを誘発します。
できるだけ取り除いておいてください。